

会派代表質問

自 民

土屋 忠和 議員



① 白里地域の明るい未来を願って!
② 防災減災対策が急務である!

問 「白里海岸の活性化」について、市長の答弁を求めます。

白里地区にお住まいの方々から多くの声とご意見を頂きます。

① 白里地区に住む高齢者の買い物支援、高齢者の外出支援をこの先どう考えているのか?

② 白里地区に移住者の受け入れ、定住を促す企画や施策をどう考えているのか?

③ 白里海岸という優れた観光資源や海洋文化を繋げた観光施策、四季折々のイベント事業をどう考えているのか?

④ 道路環境として、産業道路に付随する花壇、緑地帯の植樹は、どのように改良、整備、美化されていくのか?そして、片側に大きな水路が配備されており、この水路事情は陥没や危険な箇所が住民の不安をおおっております。住民の通報やその声をどうおすくになり、景観を改善していくのか。当然、県の管轄と認識し、その動向を注視しておりますが、市のお考えをお聞かせ下さい。

この4点の課題を要望し、総合的な答弁を構いません。金坂市長の地元への思いをお伺い致します。

市長 白里海岸ならびに白里地域の活性化について、4点の質問を順次お答え申し上げます。

① 「買い物支援および外出支援」について、買い物支援として推進をしております移動販売は、利用者のニーズも高く、スーパーの閉店によりご不便な思いをされている白里地域の高齢者の方々にとって、非常に有効な生活支援になっているものと考えております。

また、外出支援につきましては通院や日用品の調達等、日常生活を送る為に必要な手立てを確保していく事が、重要な課題と考えております。今後とも住みなれた地域で安心して暮らしていただけるよう、引き続き地域の福祉関係者のご協力を頂きながら地域で支える生活支援体制の整備に取り組みで参ります。

② 「移住定住」について、施策を推進していく事は、人口減少の著しい白里地域の活性化はもとより、将来的な市内全域での均衡ある発展にも寄与するものであると認識しております。引き続き移住について関心のある層に向けた情報発信や各種イベントを通じた交流機会の創出に努めて参ります。

③ 「観光振興」について、夏期観光型から通年観光型への新たな観光振興策への転換を図るべく、令和5年3月に大網白里市観光ビジョンを策定し、この中の基本方針にありまします。最新の情勢情報とプロモーション手法の最適化を連携強化し、各種施策に取り組みで参ります。

④ 「産業道路環境」について、植樹帯は、ボランティア団体の協力により草花の植栽や除草等の維持管理が行われ、歩行者や運転者に潤いと安らぎをご提供頂いております。また、歩道部等に堆積した土砂の除去や老朽化した排水路の改修等につきましても県へ要望し、道路環境の向上に繋がるよう努めて参ります。

私も白里地域から選出されている議員の一人です。白里地域の活性化に一丸となって目指していきます。

うではありませんか。地域の方々の主役のまち。そして、創意工夫による持続可能な行政運営の推進の実現を、市長はじめ執行部に強く要望いたします。

※その他、白里地域に関わる質問を記載いたします。

○砂浜の環境保全について
砂浜の動植物やウミガメの生息が大切。現在の砂浜の状況と今後の環境保全の心得を伺いました。

○南今泉ダイヤモンドマンションの直下に位置するアンダーパスまでの市道。その市道の拡幅工事および避難路整備の進捗状況を伺いました。

○南今泉と北今泉にそれぞれ1ヶ所新たな津波避難タワーが建設できないか、現時点の考えを伺いました。

○空家対策について
私の把握は、空家実態調査を行い、空家等対策協議会の設立、そして、空家対策計画を策定した上で、計画に基づき、国の支援に繋げるという流れと了承しております。待ったなしの空家問題の為、空家対策計画の進捗状況を伺いました。

関連質問
小倉利昭 議員



防災減災対策について伺います。

問 9月8日の台風13号による豪雨は市内各所で大きな被害が発生した。その状況を詳細に答弁願います。

答 本市の被害状況は、崖崩れ6ヶ所、路肩および法面崩れ82ヶ所、土砂流出3ヶ所、床上浸水70棟、床上浸水82棟、住宅半壊1棟のほか、農地への土砂の流入や河川の法面崩れなどの被害がありました。

問 豪雨の被害は河川の整備に係る。大網駅南側の小中川護岸整備工事の進捗状況はどうか。

答 令和3年度より大網駅から池田橋までの0.9キロメートル区間の河川改修工事を進めているところ。進捗状況を千葉県に確認したところ、これまでに護岸工50メートルが完成し、今年度も70メートルの工事を実施すると伺っております。9月の台風13号に伴う浸水被害を受け、県に対し小中川改修事業の早期完成を要望致しました。

その中で応急的対策として、今回の越水箇所に大型土のうや止水板の設置を検討しており、堤防のかさ上げ工事の準備が整った箇所から実施していくと伺っております。

問 次に小中川の南横川地区護岸補修工事について伺う。原台橋から下流で堤防の洗掘箇所が増えていたが、現在何箇所あるか、その原因は何か。

答 令和元年の台風7ヶ所、本年9月の台風で新たに7ヶ所の合計14ヶ所を把握しております。また原因として、水の流れの変化や乱れなどによって川の底面が削られ、護岸の基礎部分の土砂が流出することで護岸の沈下や傾斜、転倒などの影響が発生するかと考えられます。

問 今回工事の工程は、どこまでか、いつに完成するか。

答 令和3年度から施工し、これまでに南横川地区2ヶ所で完成しております。今年度は護岸損傷が著しい今関橋上流右岸の復旧工事を進めるとともに、本年の台風で発生した7ヶ所のうち、5ヶ所については年度内を目途に復旧すると伺っております。

残りの箇所も損傷の程度に応じ、順次復旧工事を進めると伺っており、市と致しましては早期に復旧を行うよう県に要望したところです。

地域住民の生活道路となっている小中川堤防を1日も早く、安心安全な状態に復旧して頂くよう強く要望するとともに、今後とも災害から市民を守るため防災減災対策をさらに強化して頂きたいと思えます。

壇上から2点ほど私の思いをお伝えしたい。

個人質問
市民の命と財産、そして健康を守る
事が市や議員の責務なのだ!
石渡 登志男 議員



問 令和4年5月から令和5年10月までに接種した人数は65名です。

問 このワクチンの接種料金が非常に高い、これでは年金暮らしの方に市はどのように考えているのか。

答 現在、公費助成は行っていません。国では帯状疱疹ワクチン接種の定期接種化に向けた検討を進めており、今後定期接種に位置づけられた際には公費助成の具体化について検討して参りたいと考えています。

問 災害時の公の避難所数と収容人数は、さらに、車中泊できる避難場所は何ヶ所あるのか。

答 市の指定する避難所数は16ヶ所で全体の収容人数は約12,500人です。また車中泊できる避難場所は、コメリやベイシア、市内各小中学校、公共施設など19ヶ所です。

問題は車中泊、トイレや食料や飲料水等も考えて検討して頂きたい。過去の地震を調べるとそういったことが問題となっている。

問 津波監視カメラをダイヤモンドマンション屋上の設置について、また、津波避難施設の設置は一体いつになったら、実行するのか。

答 津波監視カメラの設置については設置することの有効性、効果は大きいものと認識して参ります。現在、県によりアンダーパスに整備された陸橋の動作確認を目的とした監視カメラが設置されております。津波避難施設の整備時期ですが、検討して参りたいと思えます。

あの監視カメラは高さが一定である。津波監視カメラは高台に設置するものである。市民の命を守りたい。と認識しながら行って頂きたい。